

ウクライナ 100日レポート

子どもの権利保護に向けた
ユニセフの取り組み

2022年6月

「皆さまからのあたたかいご支援は、
この危機を生きる子どもたちに、
支えと希望をもたらしています。
心から御礼を申し上げます。」

ユニセフ事務局長
キャサリン・ラッセル



©UNICEF/UN0622178/Holerga

ユニセフのウクライナ支援の歴史

ユニセフとそのパートナーは、長年にわたってウクライナの子どもたちのために活動してきました。2014年からは東部で紛争の影響を受けた子どもたちを支援しており、今回戦闘が全土に及んだ際には、皆さまからのあたたかいご支援を受けて活動の規模を大幅に拡大し、緊急物資の提供や重要な公共サービスの維持・拡充、最も脆弱な状況に置かれた人々のニーズに対応できるようウクライナおよび難民受け入れ国の政府へのサポートなどを通じて、危機下の子どもたちを支援しています。

■ 100日間で、520万人の子どもたちへの支援が必要に

2022年2月24日、ウクライナでは戦闘が類を見ないスピードと規模で拡大しました。数百万人が行き場を失い、必要物資や保健・水・食料・教育インフラを含む公共サービスが破壊・損傷されました。この3か月足らずの間に、600万人が周辺国はじめ海外に安全を求めて避難し、そのうちの300万人超がポーランドに避難しています。また、800万人がウクライナ国内での避難生活を余儀なくされています。



© UNICEF/UN0623982/Modola

オデーサからリヴィウに逃れてきた家族（2022年4月撮影）

■ ユニセフは即時停戦を呼びかけています

ユニセフは即時停戦を呼びかけています。ユニセフは、人口密集地での爆発性兵器の使用を含む危険から子どもたちを守るよう求めます。また学校、保健、水と衛生関連設備など、子どもたちが依存する民間インフラへの攻撃をやめるよう求めます。

■ ユニセフの支援

- 2月24日以降、この戦闘の影響を受けている子どもたちのために1億8720万ドル相当の緊急支援物資を手配しました。
- 保健・栄養物資や、水と衛生用品、教育キット、乳幼児期の子どもの発達キットなど、1780万ドル相当の緊急支援物資をウクライナに送付し、1500万ドル相当の緊急支援物資がコミュニティやパートナーに届けられました。

7

- 40万人以上の子どもたちが、早期学習を含むフォーマルまたはインフォーマル教育にアクセスできました。
- おとなの同伴者がいない、あるいは親や家族と離れ離れになった3875人の子どもたちが特定され、専門家による保護サービスを受けました。
- ウクライナ国内だけで、障害のある子どもを伴う家族を含む3万2000人以上が人道的現金給付を受けました。
- 730万人が、命を守るための情報や、サービスにアクセスするためのサポートを受けました。
- モルドバ、ルーマニア、ポーランド、イタリア、ブルガリア、スロバキアの避難民の主要な移動ルート上には、国連難民高等弁務官事務所などとの協働で、避難している家族に支援とサービスを提供する安全な居場所「ブルドット」を25カ所設置しました。



©UNICEF/UN0649047/Klochko

ザポリージャにある難民受け入れセンターで、ユニセフ支援物資のスクールバッグなどを受け取った子供たち（2022年5月撮影）

■ 難民を受け入れている国への支援

多くの人々がウクライナから国境を越えて周辺国を目指していますが、そのほとんどが女性と子どもです。そうした中、政府や地方自治体、地域コミュニティは、難民への場所と支援の提供を迅速に開始しました。ユニセフとパートナーは、人身売買、暴力、搾取、虐待、家庭離散、戦争や避難がもたらす長期的な心理社会的影響などの保護リスクを指摘しました。

難民の受け入れにおいて、主に最も弱い立場にいる子どもたちに必要不可欠なサービスと保護を担う国、自治体、地域のシステムに対して、ユニセフは支援を行っています。これには、国境警備員を対象とした人身売買防止のための研修、学習機会の拡大と難民の子どもたちの学校への受け入れ、ワクチンや医療品の調達、幼い子どもたちにとって重要な日常の感覚や休息を提供する遊びと学習の拠点の設置などに対する支援が含まれます。



© UNICEF/UN0642115/Filippov

ユニセフが提供した医療物資を手にする医療スタッフ（2022年4月撮影）

2022年1月～6月 活動報告

2022年3月 県ユニセフ協会役員、賛助会員、ボランティアへ ウクライナ緊急募金 チラシで協力をお願い 多くの団体・グループ・個人からの募金に感謝！

現在、日本ユニセフ協会では、危機下にあるウクライナの人々を支援するための緊急募金を行っています。

奈良県ユニセフ協会においても、ウクライナ緊急募金のチラシを作成し、広く県民の皆さまをはじめ、県ユニセフ協会役員、賛助会員、ボランティアの方々へ配布して協力をお願いしたところ、多くの募金が寄せられました。ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

募金協力（学校・その他団体）2022年1月～6月 ご支援ありがとうございました！

■ ウクライナ緊急募金 （順不同、敬称略）

月の光、佐藤薬品工業(株)互助会、ガールスカウト奈良県連盟、新庄中学校生徒会、奈良中学生サッカーフェスティバル、奈良県経済倶楽部、南都隣山会、奈良女子大学生協同組合、国際高等学校吹奏楽部、NPO 法人音楽の森、ボーイスカウト北葛城第7団

■ 一般募金 （順不同、敬称略）

佐藤薬品工業(株)《有志会・野球部OB会・ゴルフ会》、(株)近畿レンタカーサービス、東大寺、(株)中谷本舗、元興神倶楽部、平城西中学校生徒会、郡山北小学校、市民生活協同組合ならコープ（ミャンマー募金を含む）、一条高等学校、斑鳩西小学校

開催のお知らせ（予告）

ユニセフ写真展

アグネス大使ウクライナ訪問 忘れられた紛争～光のあたらぬ子どもたち

開催日：2022年10月12日(水)～16日(日)
9:00～20:00

会場：奈良県立図書情報館 セミナールーム前

※本開催の終了後、10月17日(月)～21日(金)、奈良市庁舎1F 連絡通路にて、パネル数を限定して、同様の写真展を開催します。

ユニセフ シネマの集い

映画 「フランカとギター弾き」

開催日：2022年12月10日(土) 14:00～

会場：奈良公園バスターミナル 2F
レクチャーホール

定員：お申し込み順 先着150名(無料)



©2015-ALL Lights Reserved DorgeFilm

県ユニセフ協会のホームページ

見やすく、分かりやすい画面にリニューアル

年初から準備を進めていました県ユニセフ協会のホームページのリニューアル作業が終わり、7月から新しい画面をご覧ください。新しいホームページは写真を多く取り入れて、見やすく分かりやすい画面に生まれ変わりました。

今後とも皆さまのご意見を取り入れながらより良いホームページに仕上げてゆきたいと思っております。



- ・トップページは、県ユニセフ協会のトピックス画面が順に現れて、写真等で活動を紹介しています。
- ・募金・学習会などの各ページの目次が横に表示され、欲しい情報が探しやすくなりました。



- ・「活動の記録」のページを始め、写真を多く掲載して、見やすく分かりやすいページにリニューアルしました。
- ・アーカイブを設け、プルダウンメニューでクリックすることで、年月毎に過去の活動を簡単に検索できるようになりました。



南都隣山会（東大寺、興福寺、西大寺、唐招提寺、薬師寺、法隆寺）の皆さま



県立国際高校さまの吹奏楽部演奏会での募金ブース

2022年6月 県ユニセフ協会 2年半ぶりに街頭で募金活動を再開 近鉄奈良駅前 行基広場



2022年6月9日、2年半ぶりに街頭でユニセフ募金への協力を呼びかけました。コロナ禍の中、これまで街頭での募金の呼びかけは自粛していましたが、最近の感染状況を踏まえ、近鉄奈良駅前行基広場において街頭募金を再開しました。

ボランティア15名が参加。ウクライナ国旗を描いた募金箱も並べて、“大きな声は出さない” “チラシは配布しない” “募金箱は手に持たず椅子に置く”等の感染予防策をとりながら募金への協力をお願いしました。



近鉄奈良駅前行基広場での街頭募金

オンライン出前学習

オミクロン感染者が急増。コロナ禍を避けて。

2022年2月3日 香芝市立二上小学校

3月8日 奈良市立平城西中学校

2022年2月3日、香芝市立二上小学校において5年生145名を対象に、また3月8日には奈良市立平城西中学校において、1・2年生100名を対象に、オンライン出前学習会を開催しました。

二上小学校では、“ユニセフと世界の子もたち”と題してユニセフの活動内容とSDGs（持続可能な開発目標）の取り組み状況についてお話ししました。

平城西中学校では、校長室をお借りしリモートでSDGsについてオンライン学習会を行いました。授業終了後、生徒会の代表の皆さんより、生徒会で集められたユニセフ募金の贈呈が行われました。



校長室からオンライン授業を実施(平城西中学校)

リアル出前学習

コロナ禍もひと段落して。リアル学習会を再開。

2022年6月9日 河合町立河合第一中学校

6月13日 大和郡山市立矢田小学校



2022年6月9日に河合町立河合第一中学校において、また6月13日に大和郡山市立矢田小学校において、それぞれ学校へ出向いての出前学習会を実施しました。

河合第一中学校では全校生徒121名を対象に“子どもの権利条約”などについてパワーポイントを使用して講義中心の学習会を行いました。約90分を前後半に分け、前半では主として世界

の子もたちの現状とユニセフの活動を、また後半では権利条約の成立の歴史や意義などについて授業を行いました。後日全生徒の皆さんからいただいた感想文には、「世界の子も達に比べて自分たちは恵まれていることを改めて感じた」との感想が多くみられました。



「子どもの権利条約」を学習(河合第一中学校)

矢田小学校では6年生31名を対象に水がめや蚊帳、支援物資を使用して実習を中心に学習。児童たちは募金100円で思った以上に多くの支援物資が調達できることに驚いていました。学習後、「自分たちは当たり前のように水を飲み、食べ物を食べれていることに感謝しなければと思った」の感想が寄せられました。

2022年2月24・25日

日本ユニセフ協会

協定地域組織 事務局長会議 開催



協定地域組織は、公益財団法人日本ユニセフ協会と「協力協定」を締結し、ユニセフへの協力活動を推進するための活動拠点として設立された団体です。全国で26の協定地域組織があり、それぞれの地域でユニセフへの支援活動を行っています。奈良県ユニセフ協会もその1つです。

前年に続き今年も、日本ユニセフ協会主催の26協定地域組織事務局長会議がオンラインで開催されました。たくさんのテーマの中で注目された1つが、「先進国における子どもの権利のためのアドボカシー（政策提言）活動」についてです。SDGsの精神に沿い、この活動が正式にユニセフの事業と位置付けられました。日本では、国策レベル、自治体レベルおよび子ども直結レベルの活動を推進していくことが確認されました。

学校紹介(ユニークな活動への取り組みを紹介します)

葛城市 新庄中学校 生徒会

ウクライナの子もたちを救いたい!

「道の駅かつらぎ」で募金活動

2022年3月19・20日

3月19日と20日の両日、葛城市の市立新庄中学校生徒会の



「道の駅かつらぎ」で募金活動を行う新庄中学校生徒会メンバー

メンバーが「道の駅かつらぎ」において、ウクライナの子もたちへの支援の募金活動を行いました。

今回の募金活動のきっかけは、

「ウクライナにおいてたくさんの子もたちの命や安全な生活が脅かされている。生徒会として、大変な思いをしているウクライナの子もたちを少しでも支援したい」との思いから。

生徒会が、人の集まる道の駅での募金活動の実施を葛城市に相談し、市もすぐに対応して学校や施設の協力で実現しました。

また、同校では3月22日と23日に、校内でも体育館前において登下校の生徒に募金協力を呼びかけました。

道の駅と校内においての呼びかけで寄せられた募金は、県ユニセフ協会に手渡されユニセフを通じてウクライナ支援に役立てられます。

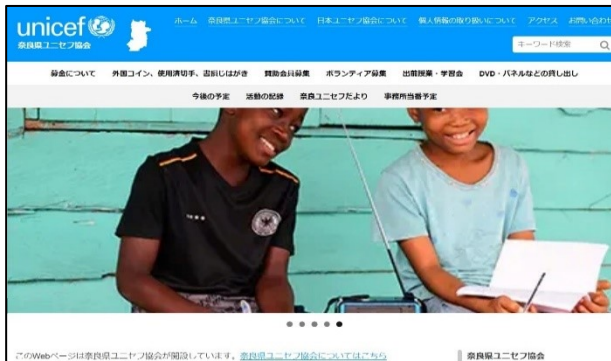


集まった募金は奈良県ユニセフ協会へ手渡され、ユニセフを通じてウクライナへの支援へ

(新庄中学校ホームページより)

ホームページのご案内

ユニセフ活動の最新ニュースをご案内しています。



www.unicef-nara.jp



上記のアドレスまで、アクセスしてみてください！

(注) リニューアルに伴ってアドレスが変わりました。

使用済み切手回収

「使用済み切手」を集めています。皆さまのご協力をお願いします。

消印を押された使用済み切手も、換金され募金として役立っています。使用済み切手は、開発途上国の子どもの命と健康、権利を守るためのユニセフ（国連児童基金）の活動に役立てさせていただきます。



切手は無理に剥がさず、切手の回りに5mmほどの余裕を持って切り取って下さい。

切手回収 BOX を奈良市はぐくみセンター（JR奈良駅西側すぐ）に設置しています

使用済み切手のほかにも集めています。

未使用切手 **書き損じハガキ** **使い残しハガキ**

*奈良県ユニセフ協会事務所へご持参ください。

*郵便で奈良県ユニセフ協会事務所へお送りください。

仲川げん奈良市長

県ユニセフ協会の顧問ご就任

2022年3月1日、仲川げん奈良市長が奈良県ユニセフ協会の顧問へ就任されました。現在の顧問荒井正吾奈良県知事とともに県ユニセフ活動への指導・助言をいただきます。

*奈良市は昨年12月、ユニセフが1996年から世界各国で取り組んでいるCFCI（子どもにやさしいまちづくり事業）において、国内初の実践自治体として承認されました。



出前学習会のご案内

— 出前学習会を行いませんか —

奈良県ユニセフ協会ではスタッフが学校を訪問して学習を行う、出前学習（講師派遣）を行っています。

映像や体験などを取り入れ、「今、世界でどんなことが起きているのか」「世界の子どもたちはどんな生活をしているのか」を学びます。



蚊帳つりを体験

（事務局までお問い合わせください。）

DVD や教材の貸し出しも行っていきます。
オンライン出前学習会もやっています。

出前学習の進め方

- ① 出前学習会の打ち合わせ（約1か月前）
日程調整、プログラム、体験学習
- ② 会場・教室の下見（約1週間前）
プロジェクター等の作動・映写確認
- ③ 出前学習会の開催（当日）

※「奈良ユニセフだより」の鹿のイラストはすべて、ボランティア大西好美さんの作品です。



奈良県ユニセフ協会

〒630-8253

奈良県奈良市内侍原町 6 番地の 1 奈良県林業会館 2 階

TEL : 0742-25-3005 / FAX : 0742-25-3008

E-mail : unicef-n@m4.kcn.ne.jp

ホームページ : www.unicef-nara.jp

※事務所開所日 : 月・火・水・木 11:00~16:00

募金して頂ける方、ユニセフDVD等の資料をご入用の方、ユニセフ支援ギフトにご協力いただける方など、お気軽にお越しください。

近鉄奈良駅から歩いて5分。お気軽にお越しください。

